



国際貢献：アジア、アフリカ、オセアニアの国々の「妊産婦の健康改善」

INCEPTION REPORT

► 10/20,10/23

ACTION PLAN

► 11/1

発表会

香川大学と国際協力機構四国支部が共同で、妊産婦と新生児死亡率の高さに苦しんでいる国々の政府、自治体の関係者（11か国 19名）を受入れ、自国の地域における妊産婦の健康改善を目指すため、24日間の研修を行います。その中で各国の実情報告会（インセプションレポート発表会）と、研修を受けた上で自国の母子健康改善のためのアクションプラン発表会を行います。

inception report • action plan • inception report • action plan •

聴講
無料

インセプションレポート発表会

第1部

10月20日(金) 13:00-15:00

幸町キャンパス オリーブスクエア

(予定)【ウガンダ、東ティモール、サモア、ケニア、モルディブ】

第2部

10月23日(月) 15:20-17:30

医学部キャンパス 臨床講義棟

(予定)【ラオス、キリバス、ミャンマー、フィジー、バングラデシュ、アフガニスタン】

アクションプラン発表会

11月1日(水)

9:00-17:00

幸町キャンパス オリーブスクエア

【アフガニスタン、ミャンマー、モルディブ、ラオス、東ティモール、バングラデシュ、ウガンダ、ケニア、サモア、キリバス、フィジー】



193の加盟国による「国連持続可能な開発サミット」が開催され、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択されました。

アジェンダでは、「誰一人取り残さない—No one will be left behind」を理念として、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針として、17の目標（ゴール）が持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）として設定されました。

その3番目の目標に「すべての人に健康と福祉を」が掲げられており、中でも妊産婦と新生児の死亡率改善が求められています。香川県はこれら死亡率が世界で最も低く、このたび、香川大学と国際協力機構四国支部が共同で、アジア、アフリカ、オセアニアの国々の政府、自治体の関係者（11か国 19名）を受入れております。

◆主 催◆

国立大学法人香川大学（瀬戸内圏研究センター、インターナショナルオフィス、医学部）
独立行政法人国際協力機構四国支部（JICA四国）

◆共 催◆

NPO法人e-HCIK、特定非営利活動法人BHNテレコム支援協議会、
メロディ・インターナショナル株式会社

◆連絡先◆

香川大学 学術・地域連携推進室 研究協力グループ 田村 美紀子
TEL 087-832-1316 (内線 1316) FAX 087-832-1319 E-mail: tikiyosenm@jimao.kagawa-u.ac.jp